

■平成 26 年度 第 1 回佐渡市地域公共交通活性化協議会 議事概要

日時：平成 26 年 5 月 20 日（火） 10：00～12：00

会場：金井コミュニティセンター 大会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 委員紹介

4. 議 事

(1) 役員（副会長・監査委員）の選出及び幹事の選任について

(2) 平成 25 年度事業報告及び決算報告について

(3) 平成 25 年度監査報告について

(4) 平成 26 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

(5) 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持事業)
認定申請について（国仲・金丸線関係）

5. 閉 会

・・・ 議事概要 ・・・

4. 議事

(1) 役員（副会長・監査委員）の選出及び幹事の選任について

○協議会設置要綱第 4 条第 2 項及び第 11 条第 2 項の規定により指名

副会長 福嶋大学 准教授 吉田 樹 様

監査委員 佐渡市社会福祉協議会常務理事 浅井 賀康 様

佐渡観光協会観光戦略本部長 加藤 透 様

(2) 平成 25 年度事業報告及び決算報告について

資料 2 について事務局から説明

【質疑】

・ 4 ページ直行便の利用実績ですが、佐渡病院の岩谷口行き、真更川行きについて帰りの利用者が少ないのはなぜか。（委員）

⇒帰りの利用が行きよりも少ない点に関しては病院からそのまま帰る人ばかりでなく、買い物をしてから帰るなどの要因があるものと推察しております。（事務局）

(3) 平成25年度監査報告について

監査委員から監査報告

【質疑】なし

(4) 平成26年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

資料4について事務局から説明

【質疑】

・佐渡病院へ通院されるお年寄りが非常に多いということで、外出支援の重要性を感じている。バスの低床化が進んでいないことをなんとか改善したいと考えている。これを改善することで利用者の増加にも繋がると考えている。

また、路線バスとスクールバスとの重複ですが、解消できれば効率化に繋がると考えている。

観光二次交通については両津港、小木港を結ぶ路線をどうするのかということが重要な検討事項だと考えている。生活交通だけでなく観光交通を取り込んでいく必要がある。（委員）

⇒スクールバスの件ですが、文科省の補助金の目的外使用になりますので教育委員会との調整が前提となります。

公共交通利用促進ということで「バスの日」の取組を計画しておりますので、事業者とともに積極的に進めてまいります。（事務局）

・昨年度決算と本年度予算の大きな違いは何でしょうか。（委員）

⇒高齢者運賃割引サービスについて協議会の予算から市の一般会計予算となっている部分が大きな違いとなっています。（事務局）

⇒高齢者運賃割引サービスは継続されるということで良いか（委員）

⇒継続します。協議会の社会実験から市の本格的な施策とすることです。（事務局）

・調査費の額が少ないのはなぜか（委員）

⇒平成25年度に実施した調査で金額が大きいものは高齢者運賃割引サービスの部分です。今年度は改めて同じ調査はしないということです。（事務局）

・自家用有償運送についてなぜ今これを検討するのか。（委員）

⇒様々な交通モードがありますが、バス路線が全てをカバーできていないという実情もあり、高齢化率の高い佐渡市においてバス以外の一つの選択肢として検討を進めるところです。（事務局）

・フリー乗車券の販売について目標 20,000 枚とありますが、どのように実現に向けて取り組みますか。(委員)

⇒まず、目標数値として関係機関と共有したいということで掲載しました。3 ページに記載した内容が具体的な施策ですが、今後も新幹線の開業などの誘客の取り組みの中で取り組みたいと考えております。(事務局)

(5) 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持事業)認定申請について(国仲・金丸線関係)

資料5について事務局から説明

【質疑】なし

5. 閉 会

以 上